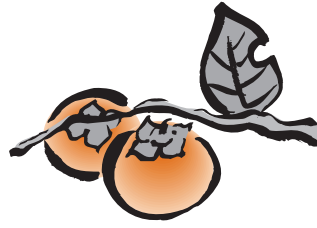


# 質疑並びに 一般質問

市政各般について、16人の議員が質問しました。  
ここでは、その要旨の一部をお知らせします。



## 新型インフルエンザ ワクチンの接種開始時期は

**問** 新型インフルエンザの感染が拡大している。5月の厚労省の通知では保険証の取り上げが受診抑引き起していることを認めているが、資格証明書交付世帯に保険証をすぐに発行すべきでは。

**答** 5月の通知の内容は新型インフルエンザの疑いで発熱外来を受診した場合は、資格証明書を保険証とみなし、取り扱うこととしている。当面国の動向を注視していくが、資格証明書交付世帯には個別通知し、疑いがある場合は受診してもらおうと周知する。

**問** 早期のワクチン接種が望まれるが、接種の優先順位とその時期は。

**答** 患者の治療に従事する医療従事者が第一優先で、妊婦及び心臓病などの基礎疾患のある人が第二優先である。次に1歳から就学前の幼児と1歳未満の乳児の両親の順に優先して行く予定である。10月下旬から優先度の高い対象者に接種を開始すると聞いています。重症化のリスクのある小中高生、基礎疾患を持たない高齢者に対しても今年度内に接種できるように国で対応している。



各施設に置かれている手指消毒液

**問** 大規模な流行時に公共サービスをどのように安定的に提供するのか。そのための業務継続計画の策定見込みは。

**答** 業務継続計画については、主に鳥インフルエンザを想定して検討を進めていた。新型インフルエンザの症例報告等を踏まえ、これまで検討した業務計画を見直すこととし、現在策定作業中である。各部署の策定作業は9月に終わらせ、健康危機管理対策本部での確認を経て、計画を示していきたい。

## 保健福祉

### がん検診率向上に向け 無料クーポンの個別配付

**問** 女性特有のがん対策として、無料クーポン券が配付されることは有効な対策と言えるが、無料クーポン券の配付から検診までの流れはどのようになるのか。また、市独自に胃がんと大腸がんの無料クーポン券を送付し、受診率向上に取り組むのはどうか。

**答** 6月30日現在の住民基本台帳をもとに、各個人へ無料クーポン券、検診手帳、受診案内文等を郵送する準備を進めている。個別検診を希望する人は案内文に記載の市指定医療機関に、また集団検診を希望する人は市保健センターに予約する。当日は、クーポン券とともに本人確認ができる運転免許証や健康保険証などを持参の上、無料で検診を受けてもらう。なお胃がん、大腸がんについては、検診の実施体制など諸条件を検討する必要があることから、今のところ無料クーポン券の配付は難しい状況にあると考えている。

**問** 6月議会で市の待機児童解消は認証保育園等の整備で対応していくとのことだったが、想定を超えるニーズに



がん検診無料クーポン券

**答** 市では保育環境に配慮した定員の弾力化の推進、民間認可保育園、駅前認証保育園施設及び保育ルームの新規設置あるいは保育ルームに通園する児童の保育料軽減措置の実施、幼稚園の預かり保育に対する補助制度の実施等、民間の活用を図りながら総合的な対策を行っている。

**問** こどもルームの夏季入所は、現在8月1日から31日まで臨時で実施しているサービスであるが、利用者の多くは夏休み期間の7月20日過ぎから8月末までの利用を望んでいる。市民のニーズに合った対応が求められているが、市としての見解は。

**答** 夏休みのこどもルームの一時利用は、入所定員数に余裕のある施設を利用できるものである。年々定員に余裕がある施設が減少しているが、近隣各市の状況を見ながら、来年の夏休み利用に向け検討していきたい。

**問** 柏駅東口ダブルデッキの改修に当たっては、バリアフリー対策、屋根の設置、1階部分の明るさの確保の3点についての要望が多く、市民の要望を考慮して決定された今回の計画は評価できる。ほかにも、交番の目立つ場所への移設、シンポルの設置等の要望もあったが、市はこれらに対しては、どのような検討をしているのか。

**答** ダブルデッキの改良工事は、さまざまな人の意見を生かした内容となったが、交番の移設については、県警との協議で結論に至らなかった。また、シンポルの設置については、賛否両論あったものの、相互の連携を深めていきたい。また、アウトリーチサービスについては、寝たきりの人や体が不自由で来館が困難な人を対象に、本の郵送や職員宅配による貸し出しを行っている。20年度の実績としては延べ425名、1549冊の利用があり、今後も充実していきたい分野であると考えている。



柏駅東口ダブルデッキ完成予想図

**問** 柏駅東口D街区再開発事業について、現段階ではどのような話が準備組合でされているのか。また、厳しい経済状況の中での進捗状況は。

**答** 経済状況の激変を受け、予定よりおくられているが、保留取得者の掘り起こし等の努力を鋭意行っている。

## 教育

### これからの図書館の あるべき姿とは

**問** 市では、新中央図書館を情報拠点の核と位置づけているが、これからの図書館のありべき姿とは、どのようなものを考えているのか。

**答** 整備基本計画を策定する中で新中央図書館のあり方について検討してきた。一つ目は、市民が生涯にわたり主体的に学ぶことができる拠点とし、図書に限らず、映像資料や電子媒体などさまざまな形態の情報提供や多様な要望に的確に対応し、市民一人一人の生涯学習活動を支援する役割である。二つ目は、市内に地域固有の歴史や文化等に関する情報が多く残っているため、これらの散逸、喪失を防ぐために貴重な情報を収集、整理、保存し提供していくような取り組みの拠点(地域アーカイブ)としての役割である。三つ目は、新たな出会い

**問** 新中央図書館の整備基本計画でうたわれている市内大学との連携について、現状と今後の方向性はどうか。

**答** 大学図書館との連携については、現在市内にある東京大学、麗澤大学、日本橋学園大学、二松学舎大学で図書館を市民に開放している。また、昨年10月には、各大学図書館の秘蔵資料を中心とした合同企画展や講演会を開催した。今後も定期的な意見交換会や情報の共有化を図りながら、



図書館本館内

## まちづくり

### ダブルデッキ改良工事の さらなる検討を

**問** 緊急雇用創出事業は、離職を余儀なくされた非正規労働者などの生活安定を図るため、次の雇用までのつなぎ雇用と就業機会の創出を目的としている。緊急雇用対策として、屋外広告物の管理台帳整備事業、整備路線の図面等を電子データ化する道路図書整備事業、防犯灯の現地調査をする防犯灯管理台帳整備事業、

**問** 3月に開催した、柏市緊急企業合同就職面接会は再開が望ましいが、実施予定はあるのか。

**答** 第2回面接会の12月開催に向けて、ハローワーク等と協議を進めている。前回のような離職理由の要件は求めず、広く求職者一般を対象とする予定である。

**問** 10年がたっているが、進捗率は極めて低い。つくばエクスプレス沿線各地で似たようなまちづくりが行われている上に、経済状況は低迷している。柏市で宅地需要がどれだけあるのか疑問である。事業を全体的に見直すべきでは。

**答** 本市には大きな魅力と潜在力があり、それを生かしてまちづくりを進めている。それぞれの地域特性、土地の形状、事業の内容をよく見て必要性を判断しており、現在、見直す考えはない。